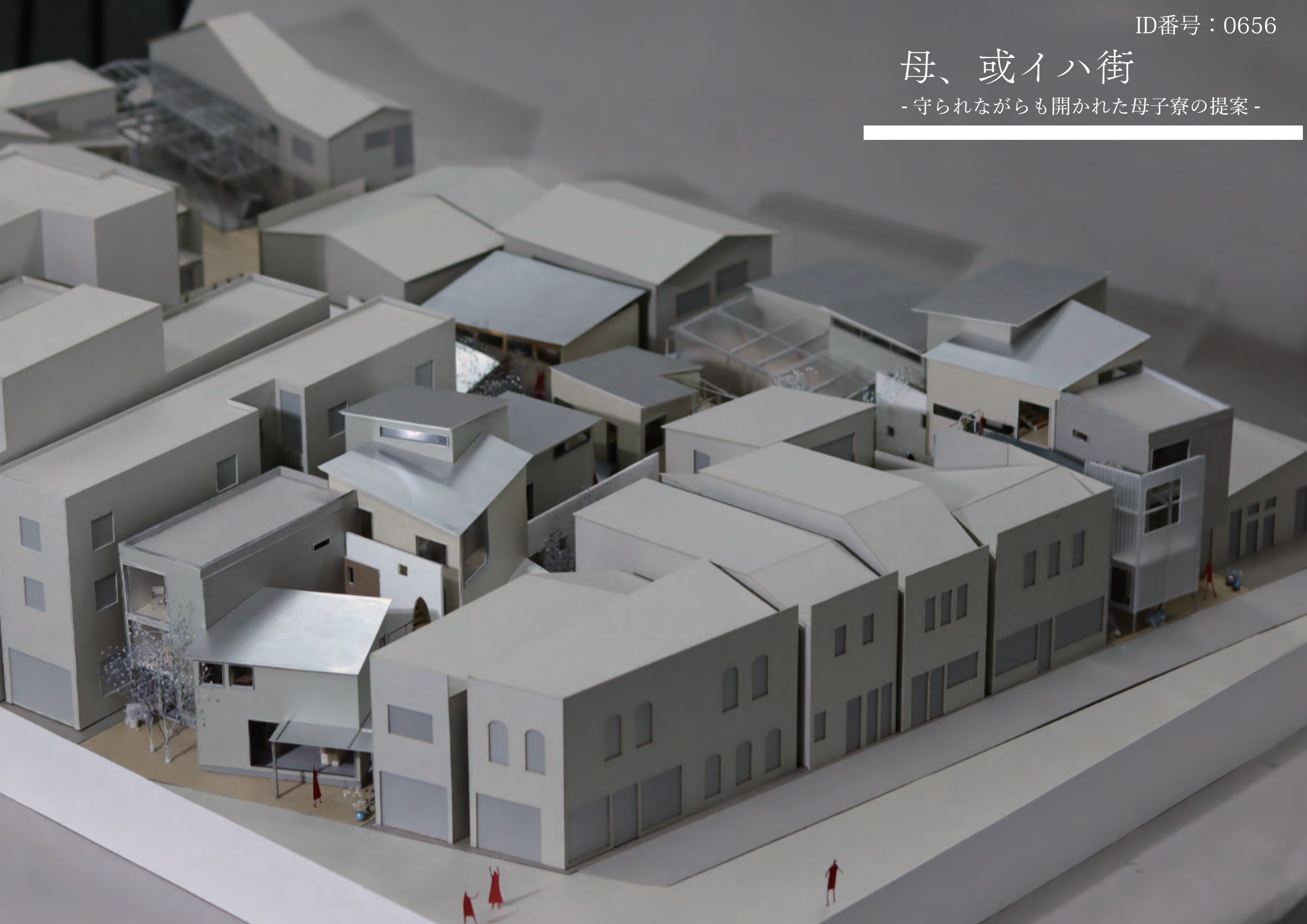


ID番号：0656

母、或イハ街

- 守られながらも開かれた母子寮の提案 -



00

背景

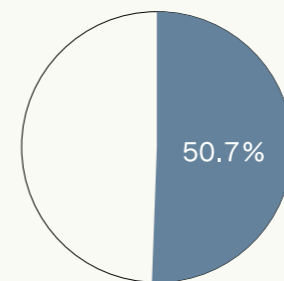
研究背景

あなたは「母子寮」というものを知っているだろうか。
私は小学3年から4年までの1年間母子寮で暮らしていた。

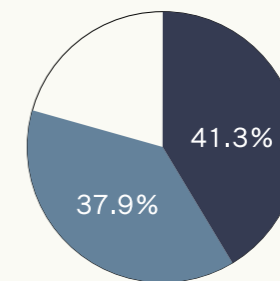
background site concept design

施設数	定員	現員
221 箇所	4,592 世帯	3,367 世帯 児童 5,626 人

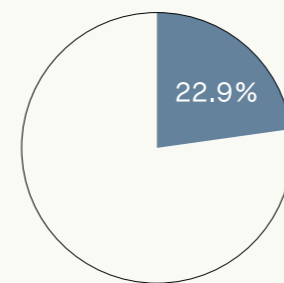
(厚生労働省 令和2年3月末)



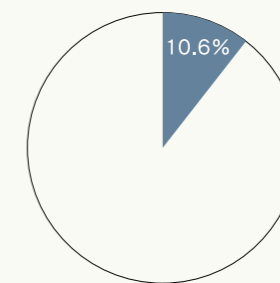
DV 被害者の割合



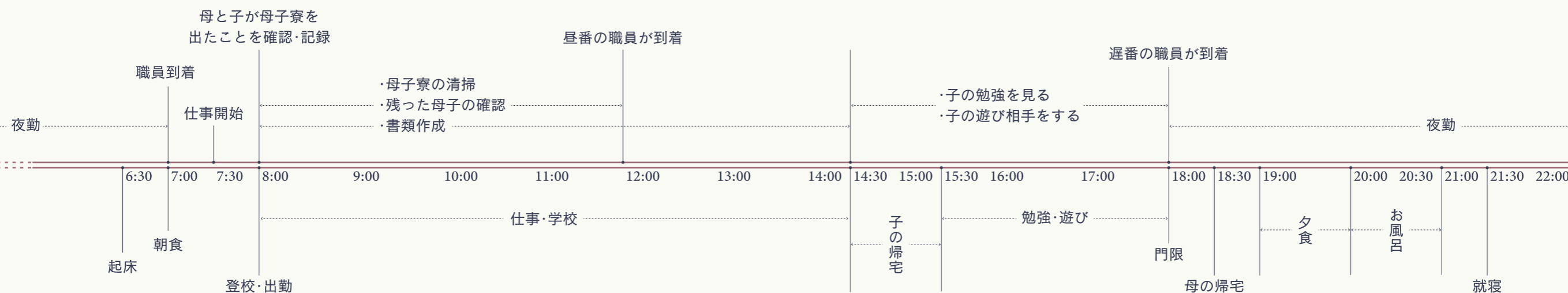
小学生以下の児童をもつ世帯の割合

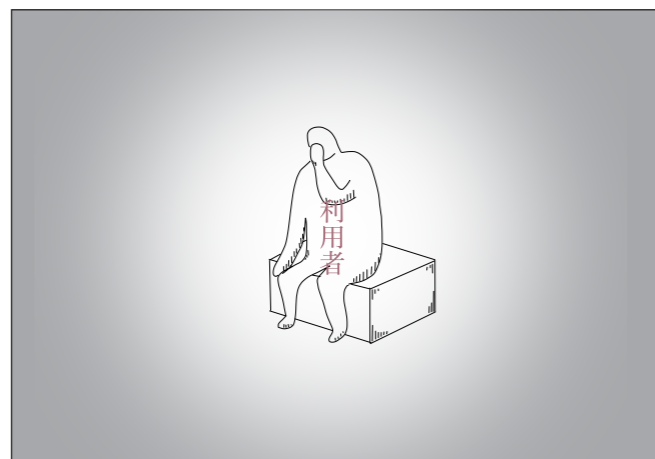


何らかの障害をもつ母親の割合



何らかの障害をもつ児童の割合





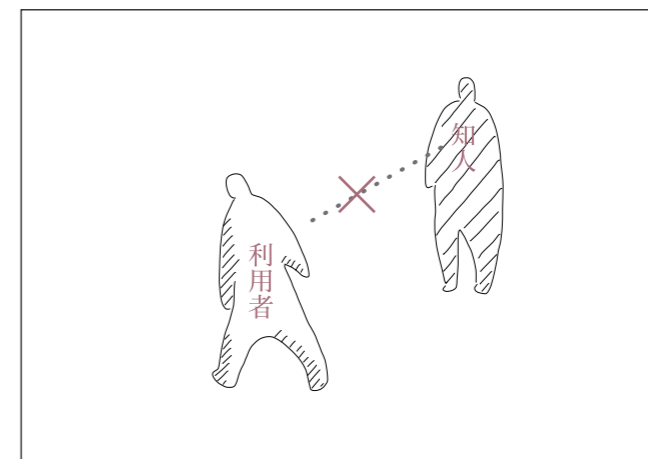
閉鎖的な環境

元父親による追跡から守るため
施設全体をフェンスで囲う



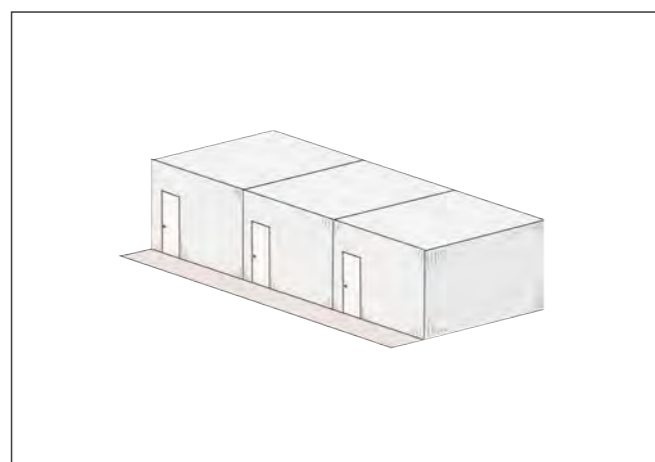
音への恐怖

元父親による追跡を恐れ、玄関前を人が歩く
音などへの恐怖がある利用者もいる



頼れる人が少ない

位置情報を知られないために
交友関係を絶ち逃げてくる場合が多い



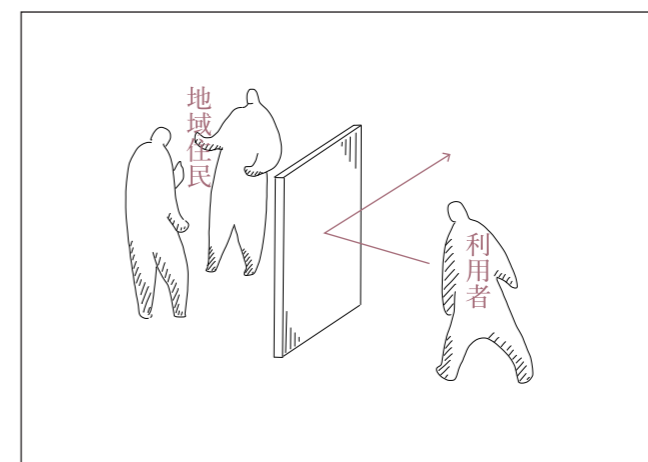
一律的な空間

子供は妊産婦を含む幅広い層に及ぶが
空間的な個別性の考慮がされていない



社会的認知度が低い

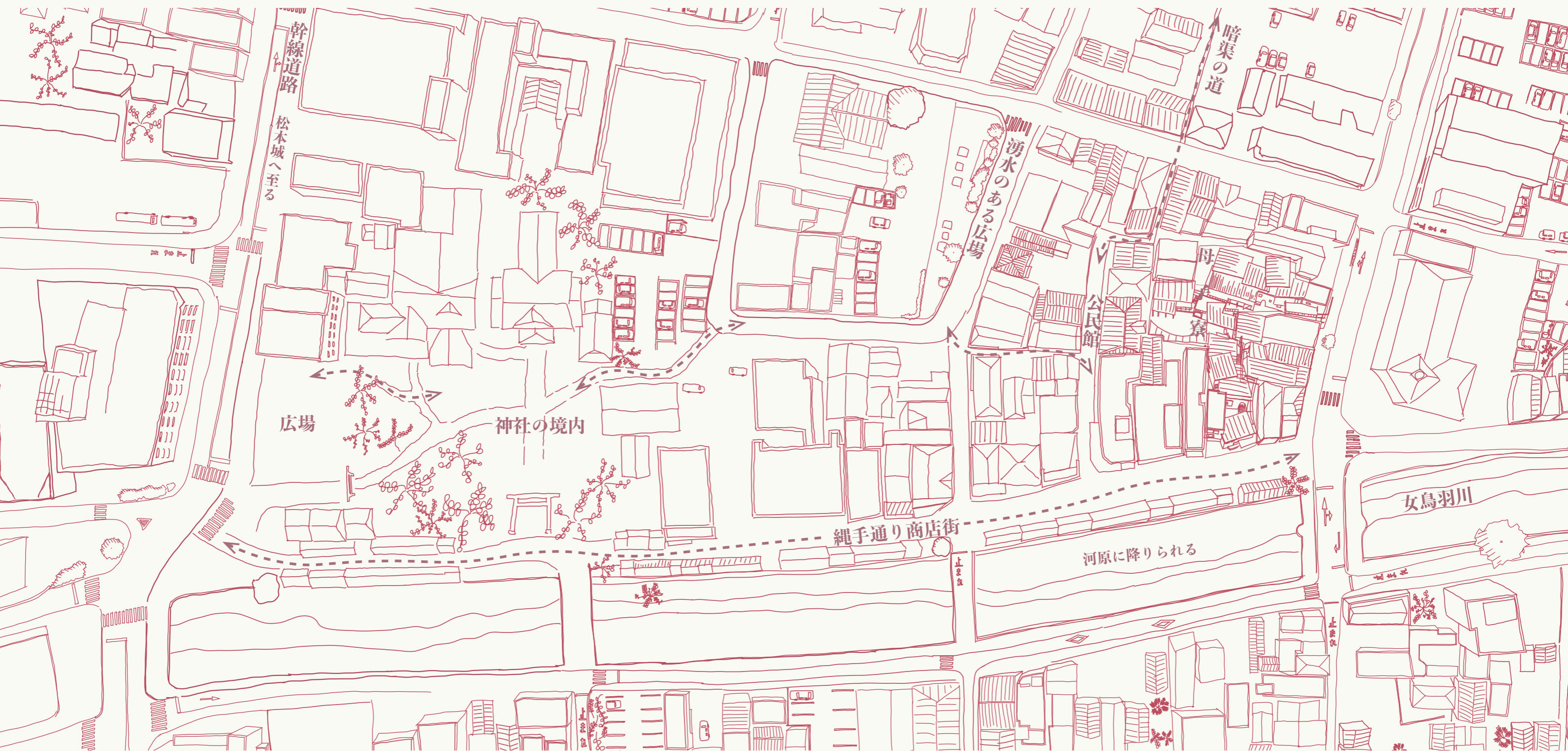
守るといふ閉鎖的な側面から
施設の情報が秘匿されている場合がある



周辺住民からのよそ者扱い

地域社会に根付く封建的な考えは、
施設利用者を受け入れにくい傾向がある

守ることは重要だが、それがかえって社会から孤立していつてしまっているように感じる。



城下町は自動車にとっては不便だが、歩行者にとっては極めて回遊性の高い都市構造をしている。

- 01| 寛容的な性格をもつ地域である
- 02| 徒歩または自転車圏内で生活ができる
- 03| 連続した歩行空間がある
- 04| 周辺に子供の遊び場となる要素が豊富にある
- 05| 職住一体が可能な地域である



■ 歩行者専用の小さな商店街

西側には広場や神社があり多くの人で賑わいを見せているが、東側では適度に商店街の賑わいが聞こえてくる。





■ 水路と公民館が作り出す 住民動線

地域住民の抜け道化している暗渠。
住民専用の中庭空間のような気配が残る道。
現在では利用頻度が低下している公民館。



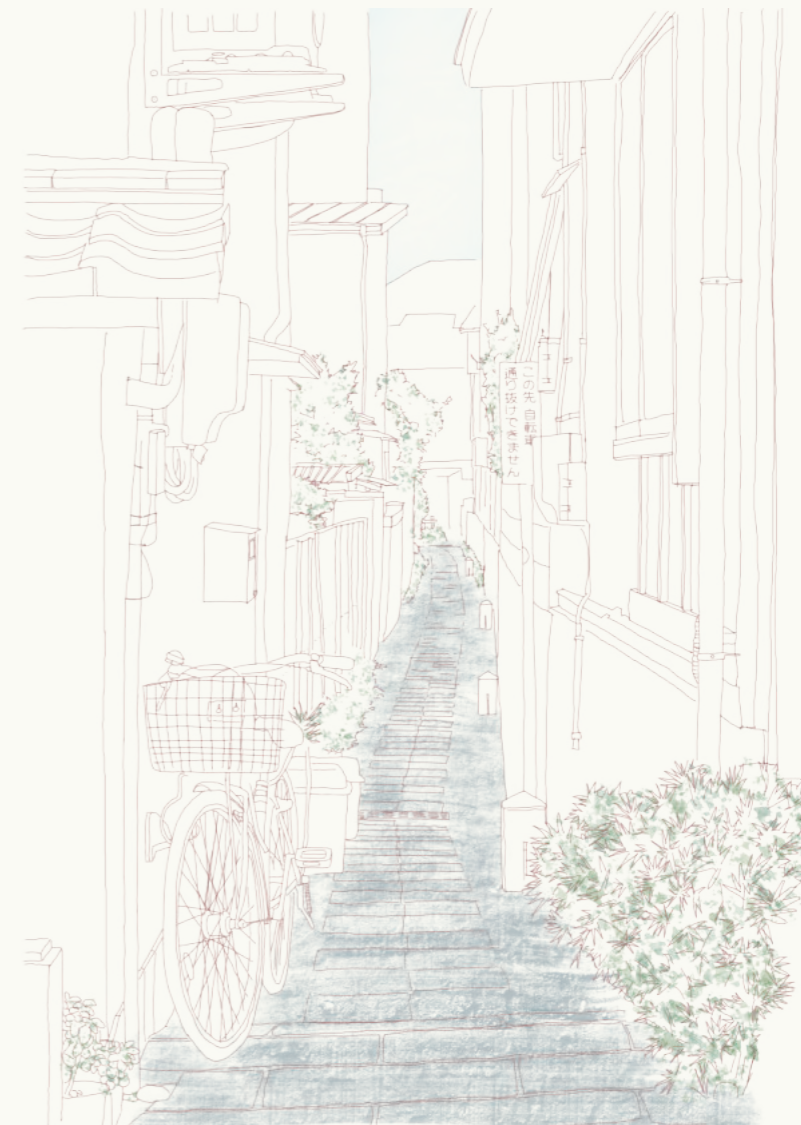
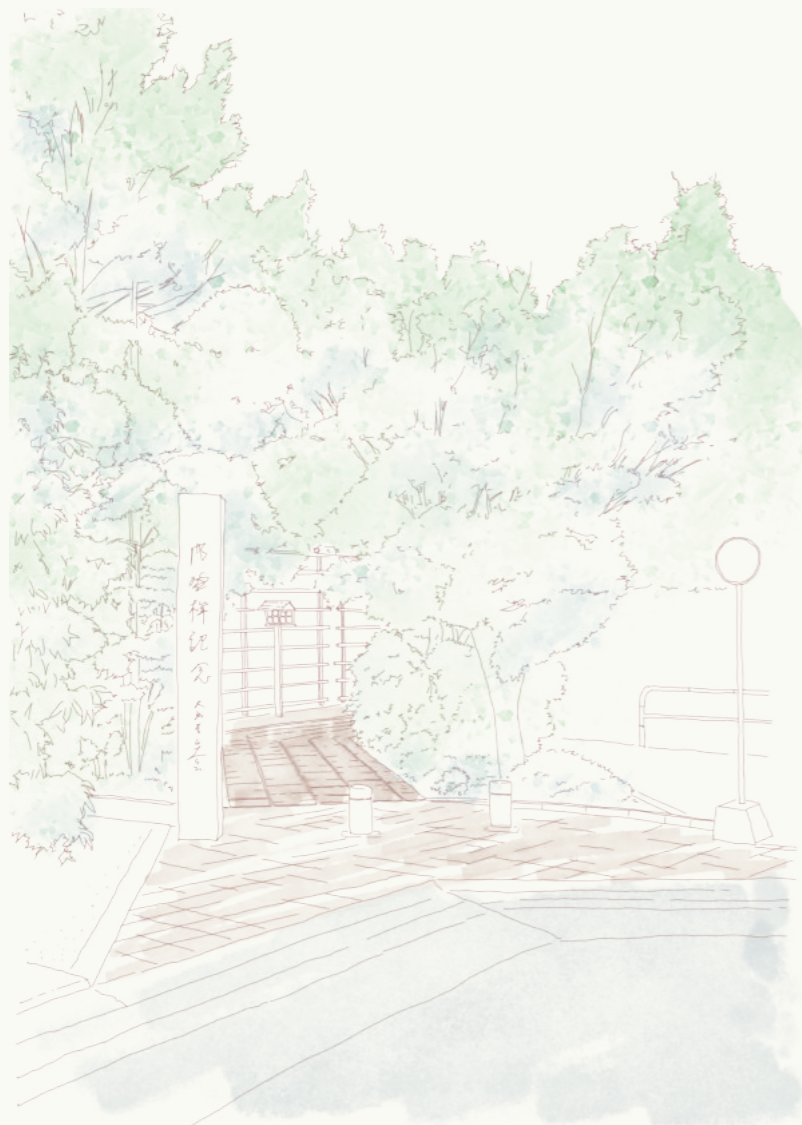


■ 多様なコモンをつくりだす 水辺空間

商店街の下の河原に降りて遊ぶ子供の様子が見える。

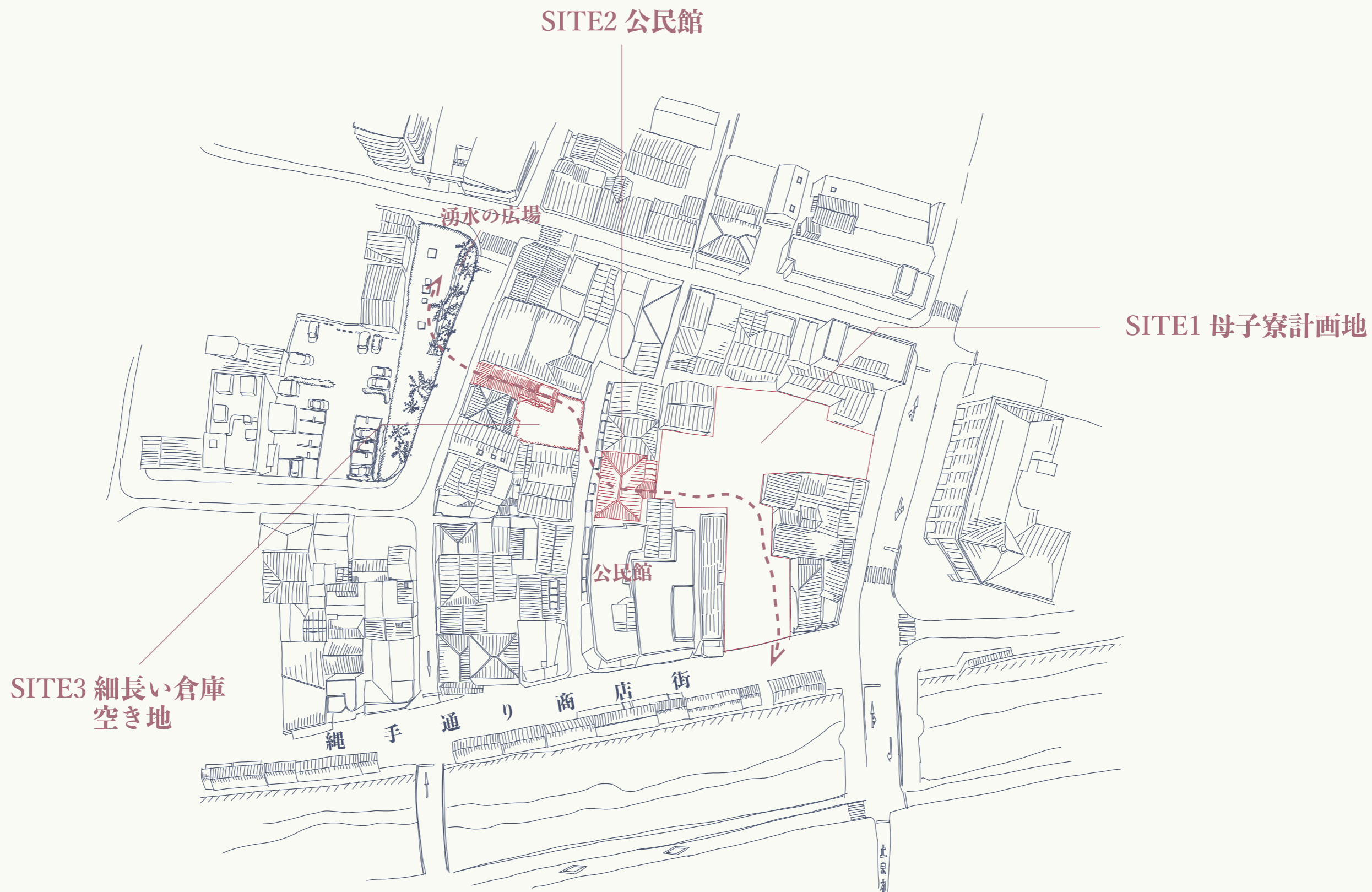
住民が湧水を汲み、子供が遊ぶ姿も見える。





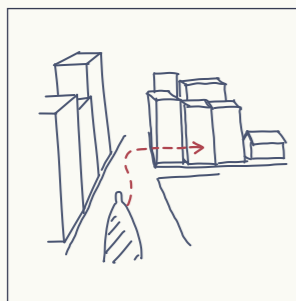
敷地周辺には、地域住民しか通らないような小さな抜け道が存在している。

敷地 - 長野県松本市縄手通り商店街

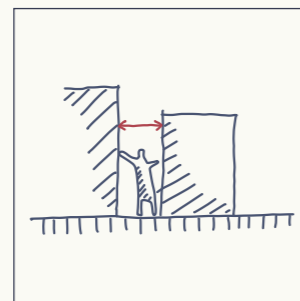


街の隙間を縫うように敷地を切り取る。

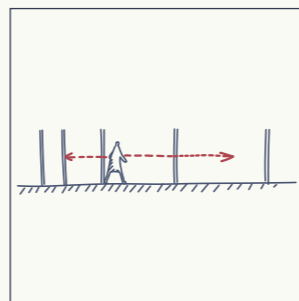
物理的遮断ではなく、心理的距離を遠くすることで守られながらも開く。



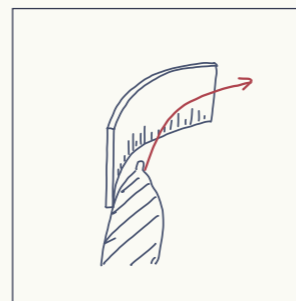
マチからイエへ



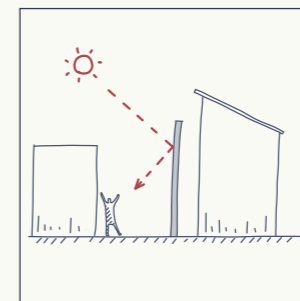
心地いい狭さ



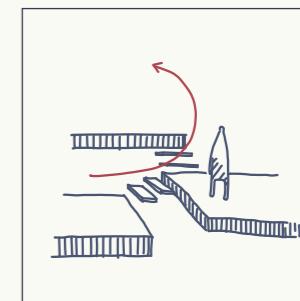
柱間の変化



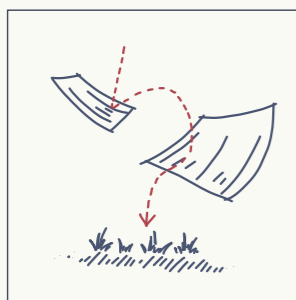
客体の誘導



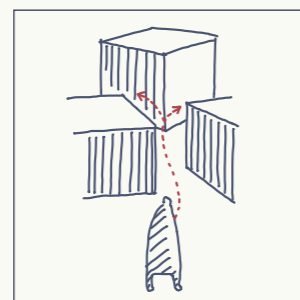
光を導く壁



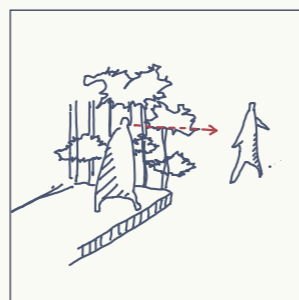
段階化する床



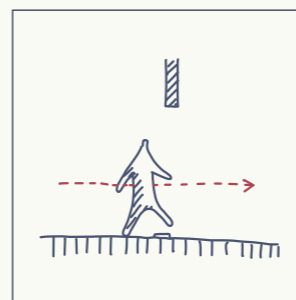
雨を涵養する屋根



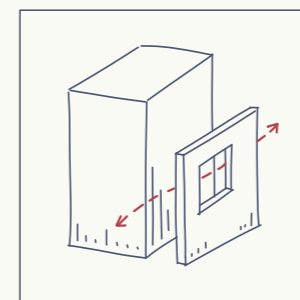
雨を涵養する屋根



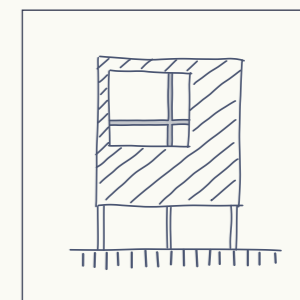
相手からは見えない



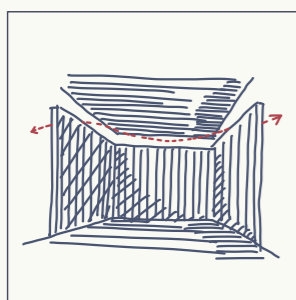
敷居をまたぐ



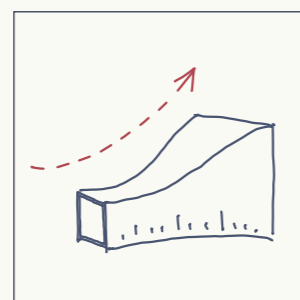
ウチとソトのはざま



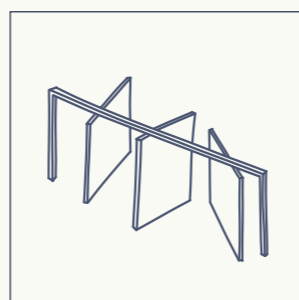
構造体の露出



空への開放



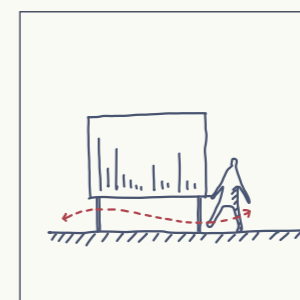
スケールの飛躍



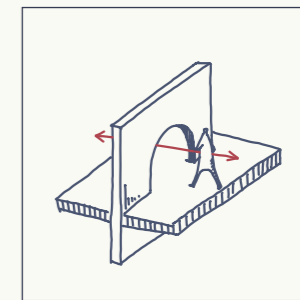
調整可能な気配



表層の擬態



浮遊する壁

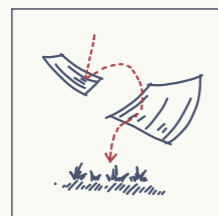


境界の行き来

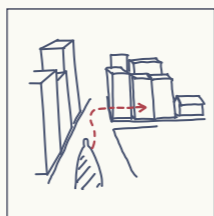
心理的距離を遠くするための形態を図式化する。

手法

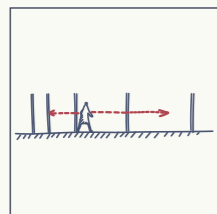
大
スケール



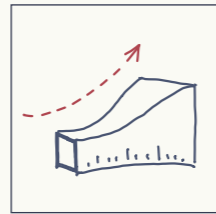
雨を涵養する屋根



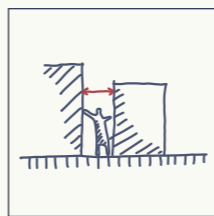
マチからイエへ



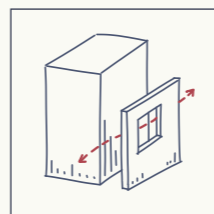
柱間の変化



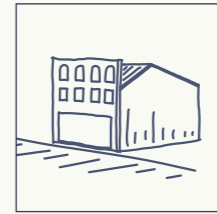
スケールの飛躍



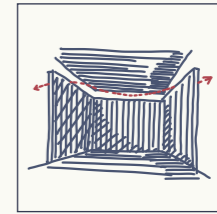
心地いい狭さ



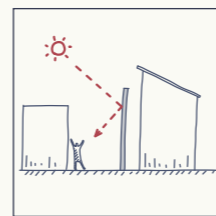
ウチとソトのはざま



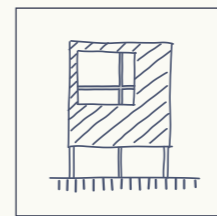
表層の擬態



空への開放



光を導く壁



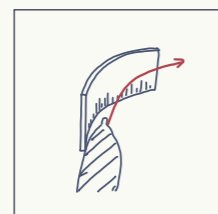
構造体の露出

開放性

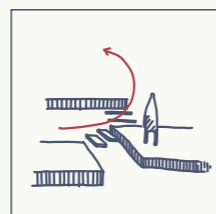
開放性

高い

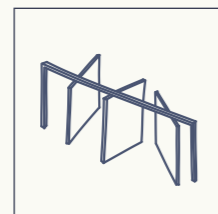
低い



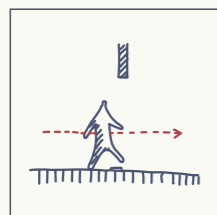
客体の誘導



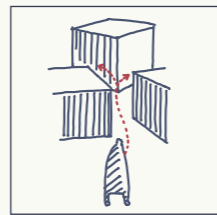
段階化する床



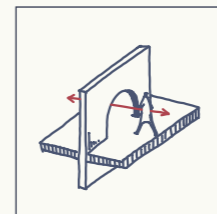
調整可能な気配



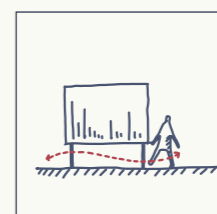
敷居をまたぐ



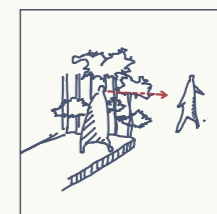
見え隠れする散策路



境界の行き来



浮遊する壁



相手からは見えない

小
スケール

さられた空間
ほつれる空間
開かれた空間

商店街
繩手通り

開かれた商店街から少しずつ奥へ奥へと入っていくようにプライベート性を高めていく。

配置・動線計画



GLレベルでは、地域住民の動線と母子寮の動線の2つの軸線を通す。

配置・動線計画



湧水の広場

空き地

公民館

母子だけの動線

地域住民の動線

縄手通り商店街

2FL レベルでは、コア同士を結ぶように母子だけの動線がつながっている。

プログラム

- ・ 母子用住戸
- ・ 店舗（就労継続支援）
- ・ ステップハウス
- ・ 工房
- ・ 調理室
- ・ 図書室
- ・ 保育室

公民館

保育室

図書室コア

調理室コア

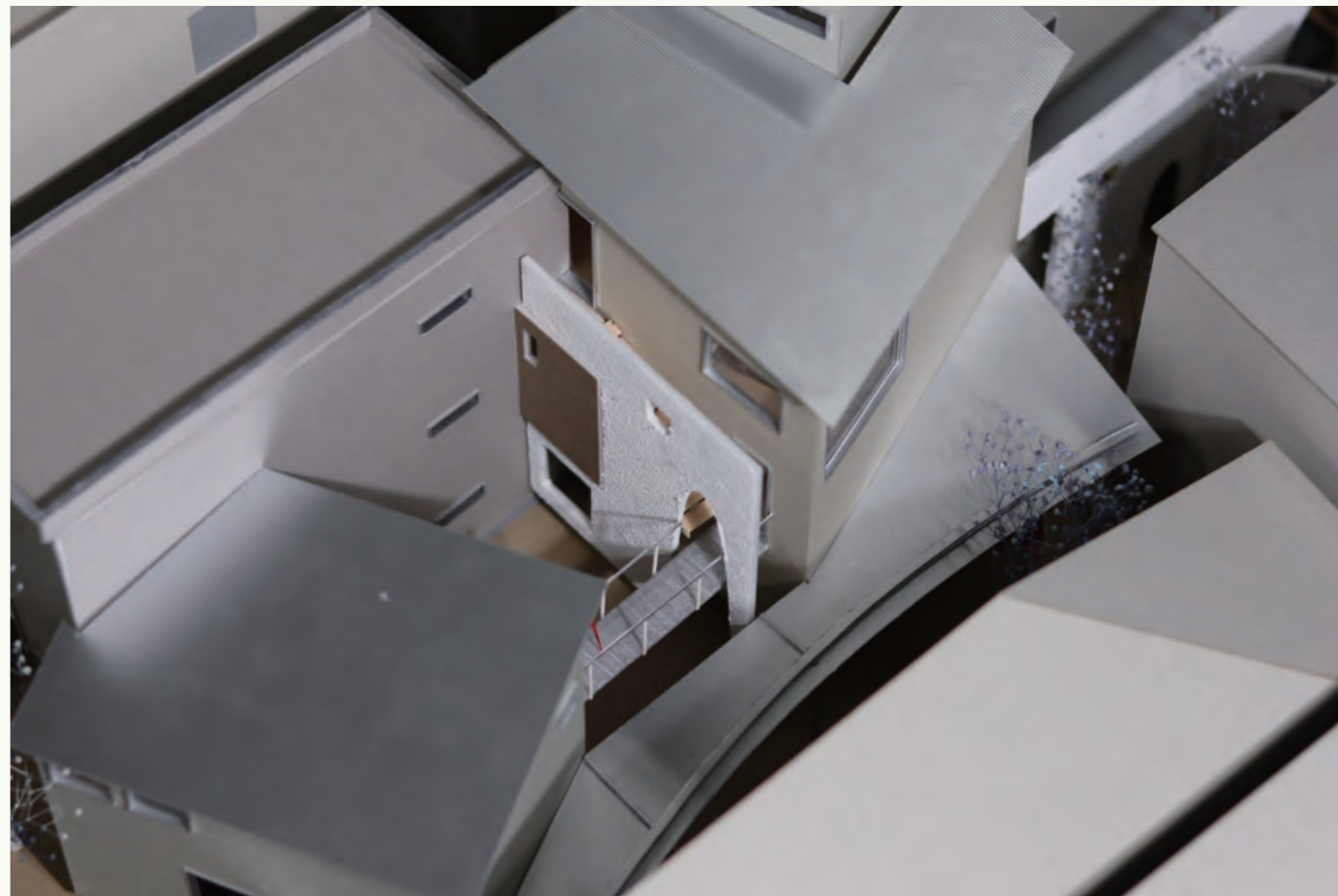
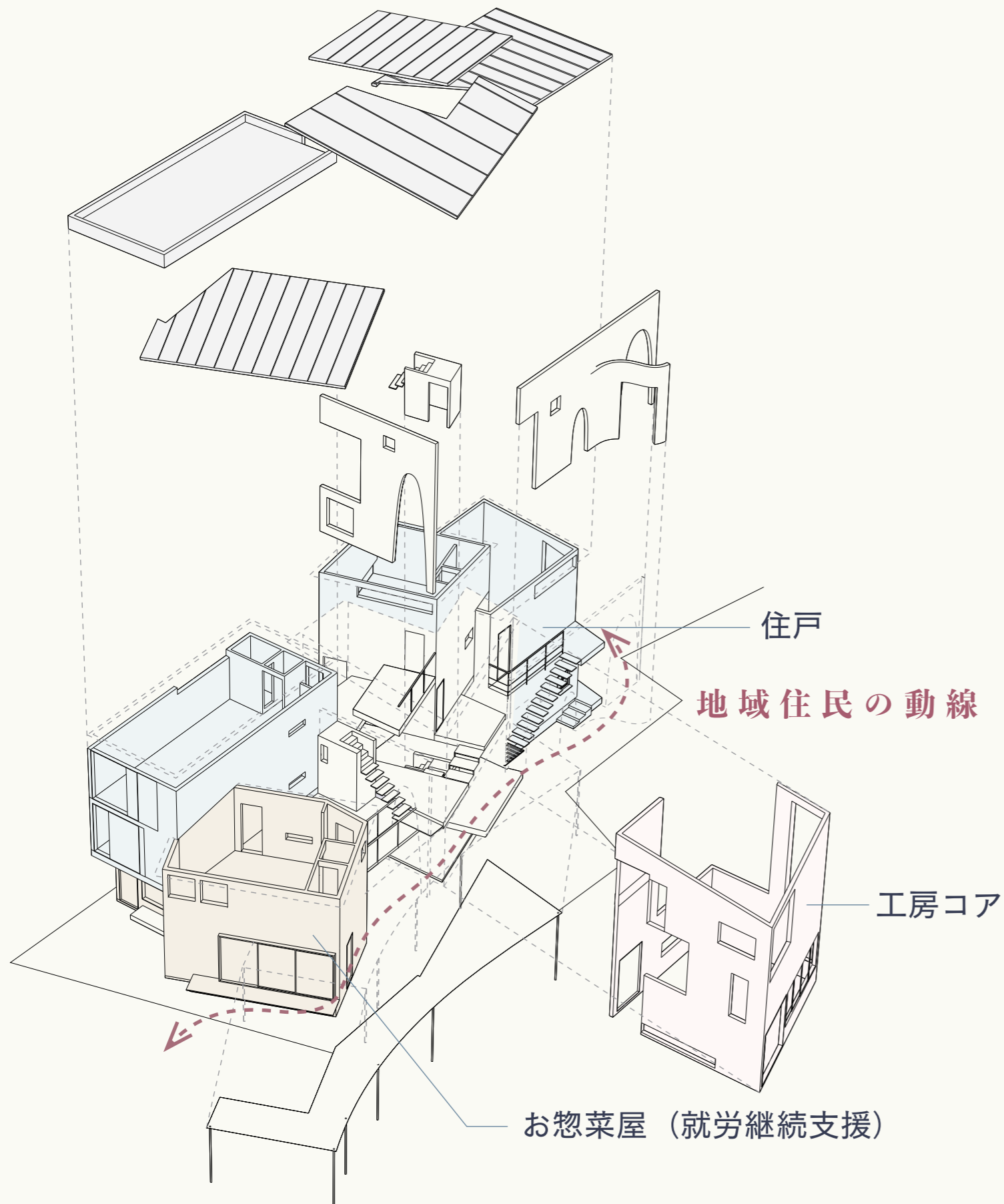
工房コア

ステップハウス

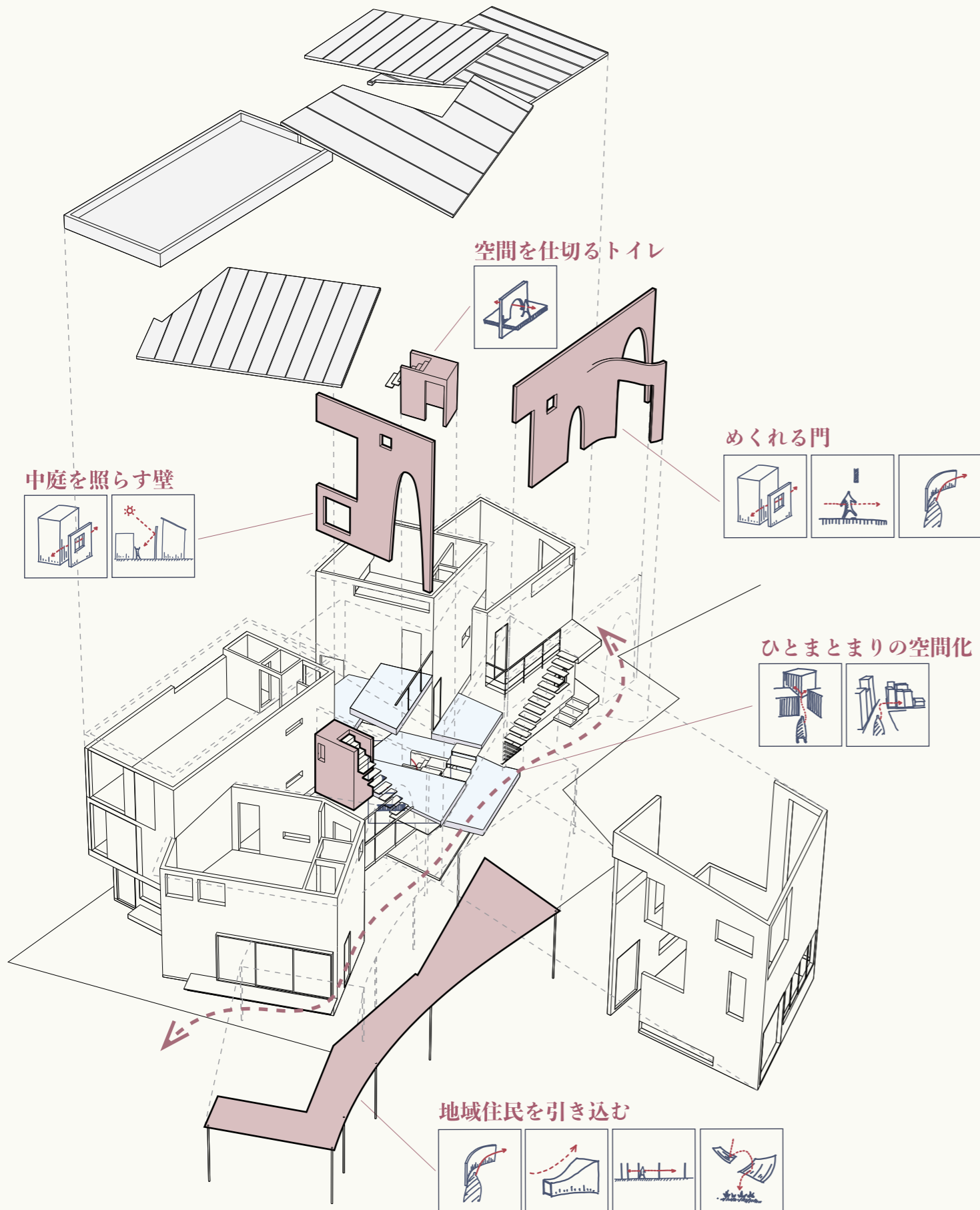
店舗（就労継続支援）

店舗（就労継続支援）

配置ダイアグラム - 工房コア



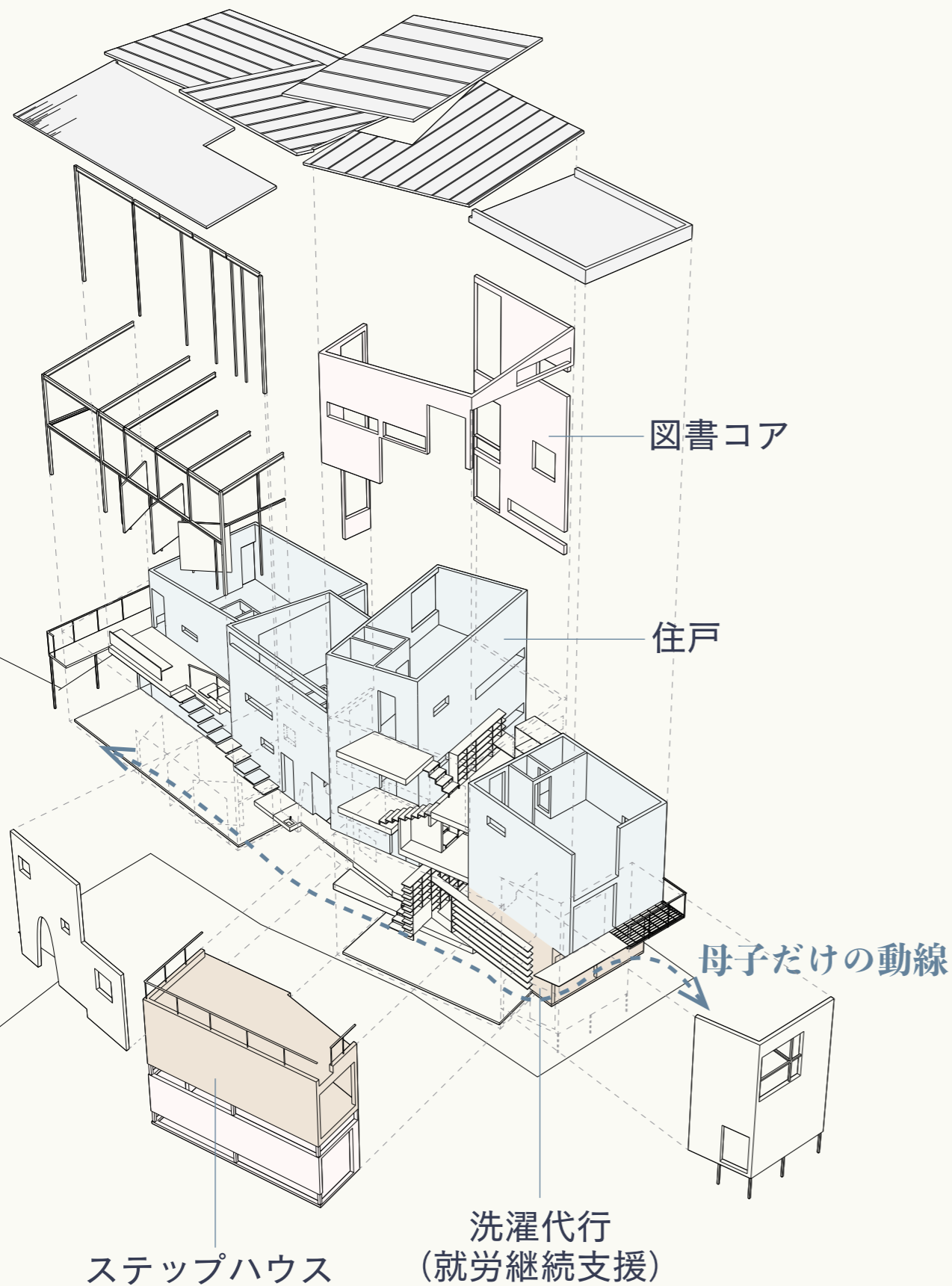
配置ダイアグラム - 工房コア



住民動線のシーケンスの変化

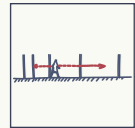


配置ダイアグラム - 図書コア



配置ダイアグラム - 図書コア

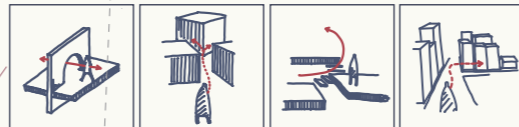
柱間の変化



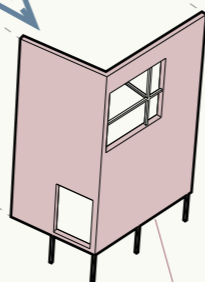
調整可能な気配



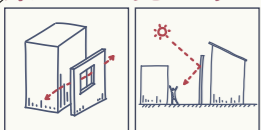
本棚の境界を行き来する



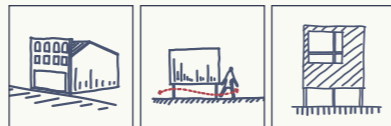
母子だけの動線



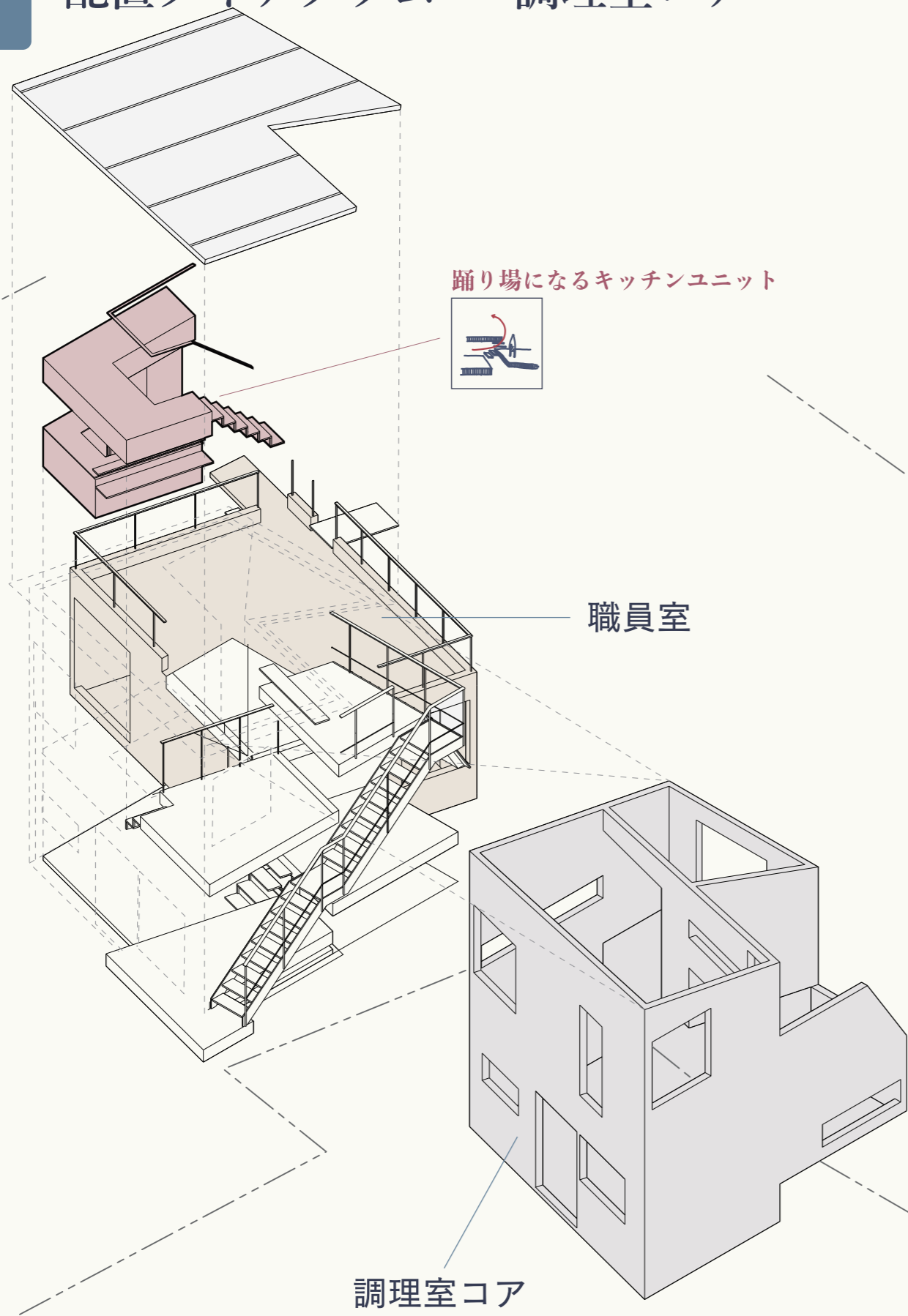
柔らかい光を導く壁



表層を周囲と馴染ませる



配置ダイアグラム - 調理室コア





background site concept design

fin.